

# 第3回

うちどく

# 家読サミット

in 板柳

～家読で深い絆のまちづくり～

日時 平成23年11月5日(土)  
午前8時50分～午後12時40分

会場 多目的ホール「あぶる」

入場無料  
(当日参加できます)

## プログラム

- 8:20 開場
  - 8:50 オープニングセレモニー  
合唱「こころつないで」板柳レディースコーラス
  - 9:00 開会
  - 9:10 基調講演  
講師:ノンフィクション作家 柳田 邦男さん  
演題:「大人の再生・子どもの成長」  
～読み聞かせは心育ての特効薬～
  - 10:40 家読座談会「我が家での家読実践」  
出席者:板柳町内実践家庭  
司会:板柳町読書のまち推進連絡会議  
田中 忠博さん
  - 11:20 シンポジウム  
テーマ:「家読で深い絆のまちづくり」  
～「読書のまち」としてのこれから～
  - シンポジスト  
佐賀県伊万里市 塚部 芳和 市長  
茨城県大子町 益子 英明 町長  
青森県板柳町 館岡 一郎 町長
  - コーディネーター  
家読推進プロジェクト代表 佐川 二亮さん
  - 12:25 家読サミット共同宣言
  - 12:35 次期開催地挨拶
  - 12:40 閉会
- 【併催行事】
- 参加自治体の家読パンフレットや観光パンフレット展示
  - 家読テーマソング「こころつないで」CDの販売 他

## 家読(うちどく)とは?

「家読」とは、家族で読書の習慣を共有することです。基本は、家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話すことです。同じ本をみんなで読めば、家族の会話もいっそうはずみます。



### profile

やなぎだ くにお  
柳田 邦男さん

1936年栃木県生まれ。ノンフィクション作家、評論家。現代における「いのちの危機」をテーマに数々のノンフィクション作品や評論を半世紀にわたって書き続けている。1979年「ガン回廊の朝」で第1回講談社ノンフィクション賞、1995年「犠牲わが息子・脳死の11日」の執筆とノンフィクションジャンルの確立への貢献で第43回菊池寛賞など、受賞多数。最近の主な著書に「夏の日の思い出は心のゆりかご」「生きなおす力」「新・がん50人の勇気」などがある。また、翻訳絵本に「だいじょうぶだよ、ソウさん」「エリカ 奇跡のいのち」など多数ある。現在、日本政府からの委嘱で福島原発事故調査委員会の委員もされている。

## 第1回 子ども司書推進全国研究大会

家読サミットの開催に先立ち、「子ども司書推進全国研究大会」が開催されます。子どもたち自身が読書の素晴らしさや大切さをつたえる「子ども司書」の取り組みが今、各地に広がり注目されています。

### ●子ども司書とは?

福島県「矢祭もったいない図書館」から始まり、本が好きで読書に興味・関心をもつ子どもたちが、司書としての知識や技術を学び、図書館の仕事を体験することで、子どもたちのなかに読書の素晴らしさや大切さを伝える「子ども司書」を養成していくことを目的としています。

- 日時:平成23年11月4日(金) 午後4時～6時
- 会場:多目的ホール「あぶる」

### プログラム

- 16:00 開会
- 16:05 基調講話  
テーマ:「子どもは信じられないほど素晴らしい存在」  
講師:子ども司書推進全国協議会理事長 高信 由美子さん
- 16:35 シンポジウム  
テーマ:未来へつなげる読書  
「子ども司書制度の意味するもの」  
コーディネーター:高信由美子さん/アンソリユー・デュアーさん(カナダ)  
シンポジスト:福島県矢祭町もったいない図書館/  
佐賀県伊万里市民図書館/青森県野辺地町立図書館  
青森県板柳町民図書館
- 17:15 ケーススタディ  
テーマ:「世界の子ども読書事情」  
アンソリユー・デュアーさん/佐川 二亮さん
- 17:40 子ども司書推進全国ネットワークの提案
- 18:00 閉会

【主催】青森県板柳町、板柳町教育委員会  
【共催】子ども司書推進全国協議会

- 主催:青森県板柳町、板柳町教育委員会  
共催:佐賀県伊万里市、茨城県大子町  
後援:青森県、青森県教育委員会、青森県読書推進運動協議会、青森県読書団体連絡協議会、西北五つがる読書推進連絡会、家読推進プロジェクト、東奥日報社、陸奥新報社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、NHK青森放送局、板柳町読書のまち推進連絡協議会

### □お問い合わせ

板柳町教育委員会 生涯学習課  
〒038-3672  
青森県北津軽郡板柳町大字灰沼字岩井61  
(多目的ホールあぶる内)  
TEL.0172-72-1800 FAX.0172-72-1801

